

百年前の雨との邂逅

自然の恩恵を受けた自慢の水

岡垣町は、響灘に面する三里松原や孔大寺山、湯川山をはじめとする山々など、豊かな自然に囲まれています。これらは昔から守られてきた大切な資源で、豊富な地下水を生み出してくれています。その恩恵を受け、町の水道水は約85パーセントを地下水でまかなっています。

地下水のもととなる雨は、山々に降り注いだあと、長い年月をかけて地中深くにしみこみ、さまざまな地層を通る間に多くのミネラルなどを含んだおいしい水になります。

岡垣町の地下水は、厚生労働省の「おいしい水」の基準値を満たしています。この地下水を原水として皆さんの家庭に供給している水道水は、蛇口から注いだ状態で十分に安心・安全な飲料水として利用することができます。

豊富な地下水に恵まれて

大人も子どもも楽しめる「水道まつり」

岡垣町のおいしい水を体感し、水の保全や自然環境の大切さを知ってもらおうと、毎年6月に催しています。普段なかなか見ることのない浄水施設の見学や水の飲み比べのほか、かき水やヨーヨーつりなども楽しめます。



100%天然地下水をご家庭で岡垣源水「大地の水」

町内最大の取水量を誇る八反田水源。この水源の水に親しんでもらおうと、水源横に自動給水機を設け提供しています。水の名前は「大地の水」。地下150mからくみ上げた100%天然地下水は「おいしい」と評判で、町内外の多くの人に親しまれています。



所 岡垣町浄水場そば
(浄水場:吉木東2丁目6-1)
営 午前7時~午後8時
料 20リットル 100円 ※要容器

自動給水機

おいしい水は町の宝

平成28年度に町との共同研究で地下水の水質などを調査したところ、約50~150年前に降った雨が地下水になっていることが分かりました。井戸の深さによっては200年以上前のものもあります。

岡垣町の地下水は、日本に多い軟水ではなく、カルシウムやマグネシウムをたっぷりを含んだ硬水で、ヨーロッパに多い水質です。炭酸も含んでいるので、舌にほど良く刺激があり、おいしいと感じる人も多いのではないで

しょうか。また、地下水温は年中ほぼ一定で、ダムや河川のような水温の変化がありません。蛇口をひねると同じ温度の水道水が出てくるので、夏には冷たく、おいしい水を味わうことができます。

地下水はとても貴重な資源です。この町の宝をこれからも引き継いでいくために、地下水の源である森林を守り続けてほしいと思います。



九州大学大学院 准教授
広城 吉成さん

昭和37年生まれ。所属研究室は、水圏環境工学研究室。専門分野は、地下水環境学、水資源工学。

アカウミガメについてのふたつとこ

岡垣町の豊かな自然の象徴である三里松原の海岸には、絶滅危惧種に指定されている「アカウミガメ」が産卵にやってきます。本来暖かい海に生息し、主に関東から以西の太平洋岸で繁殖するアカウミガメ。九州では宮崎や鹿児島、島の浜辺で見られますが、黒潮の支流に乗って岡垣町にたどり着いています。

岡垣町で初めてウミガメの産卵が確認されたのは平成4年。その後、ウミガメ調査を開始し、これまで多くの産卵・ふ化を確認しています。



アカウミガメが産卵に訪れるのは6月～7月。産卵場所が波打ち際に近いときなどは岡垣ウミガメ倶楽部が安全な場所に移し替え、防護柵を設置します。その後、ふ化するまでの約2カ月間、同倶楽部が砂の音をもとにカメの様子を毎日確認。ふ化する時期が近づくと、子ガメの旅立ちを一目見ようと多くの人が集まります。訪れたときに旅立たないこともあるため、辛抱強く足を運びましょう。



海がめの
情報はこちら

海がめもかえる町

ウミガメの生息は、海辺の環境の指標ともいわれています。

このウミガメもかえる美しい海岸を未来へと引き継ぐため、町では毎年6月に「ラブアース・クリーンアップ」を開催。多くの住民がボランティアとして参加し、町を上げて海岸の環境を守っています。



岡垣ウミガメ倶楽部

平成18年に発足。絶滅危惧種に指定されているアカウミガメが、日本海側で自然産卵・ふ化することは大変珍しく、保護しようとする有志が集まりました。アカウミガメの産卵・ふ化調査や保護活動、海岸線などの自然環境の保全・美化活動を行っています。